

2006年1月31日

各位

会社名 株式会社CFSコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 米田 幸正
(コード 8229 東証第1部)

会社名 イオン株式会社
代表者名 代表執行役社長 岡田 元也
(コード 8267 東証第1部)

イコールパートナーシップに基づく新たな関係の構築について

株式会社CFSコーポレーション(以下「CFS」という)とイオン株式会社(以下「イオン」という)とは、業種・業態を超えた大競争時代の到来を見据え、両社間に締結した2000年4月4日付覚書に謳う相互信頼の精神を基本に、CFS・イオン双方の独自性を尊重するイコールパートナーシップに基づいた両社の新たな関係を構築することになりました。両社は、CFSが目指す「健康維持・増進に関するソリューション企業」とイオンが目指す「顧客満足業」の協働を通じ、ドラッグストアとスーパーマーケットの新たな融合のあり方を創造することに合意いたしましたのでお知らせいたします。

2004年10月8日にCFSはイオンとの業務・資本提携の解消を発表、一方イオンは提携関係が継続しているという立場を表明し今日に至っております。しかしこれまでの両社の建設的な話し合いにより、両社は、CFSが提携解消を求めた理由の一つである独自性の確立について、また提携が十分な成果をあげられなかったことを相互に理解しました。

この理解を踏まえ、CFSは提携解消を一旦撤回し、改めて両社は相互の信頼関係の下にイコールパートナーシップに基づく新たな関係を構築することに合意しました。この新たな関係の下でお互いがアイデンティティー(独自性)の確立と戦略共有によるシナジー(相乗効果)をあげるように努力していくことで、株主・市場の支持を得ることになり、両社の企業価値を高めることになると考えております。

昨年来、両社の株主さま、お客さま、お取引先さま、マーケットなど関係者の皆さまには大変ご心配をおかけしたことをお詫びするとともに、何卒ご理解と引き続いてのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

記

新しい覚書の骨子

1. イコールパートナーシップの構築について

- 1) 両社の最高責任者は、緊密なコミュニケーションを通じ相互の信頼関係を更に深め、両社の企業価値向上を図る。
- 2) 両社はイコールパートナーシップを最大限重視して、今後両社の新たな関係を構築・強化する。
- 3) C F S はイオンのドラッグストア事業についての支援・アドバイスを、イオンはC F S のスーパーマーケット事業についての支援・アドバイスを、イコールパートナーシップの原則に基づき行い、これを通じて両社間のシナジー効果を追求していく。
- 4) 両社の相互協力の詳細については、両社間に設けられる協働取組推進委員会(仮称)において協議の上決定する。

2. イオン・ウエルシア・ストアーズの活動について

C F S はイオン・ウエルシア・ストアーズ(以下「ウエルシア」という)の活動を引き続き凍結する。

ただし、両社は新たな関係の下での相乗効果等を相互に確認した上で、C F S のウエルシア活動参加について改めて協議する。

3. 株式・役員の関係について

- 1) イオンはC F S の株式を15%を越えない範囲で継続保有する。
- 2) イオンは、イコールパートナーシップに基づき、この株式保有によりC F S の経営に対して影響力等を行行使しない。
- 3) イオンは引き続きC F S に社外取締役・監査役を派遣する。

両社の概要(2005年2月期)

(1) 株式会社C F S コーポレーション

本店	静岡県三島市広小路町13番4号
設立	1947年9月
資本金	5,660百万円
営業収益	1,463億円
店舗数	249店舗(2005年8月現在)
従業員数	4,617名(うちパートナー等3,147名)
代表者	代表取締役社長 米田 幸正

(2) イオン株式会社

本 社 千葉市美浜区中瀬 1 丁目 5 番地 1
設 立 1 9 2 6 年 9 月
資 本 金 1 0 1 , 7 9 8 百万円
営業収益 1 兆 8 , 3 0 2 億円
店 舗 数 3 8 7 店舗 (2 0 0 5 年 8 月現在)
従業員数 7 4 , 2 7 4 名 (うちコミュニティ社員 6 0 , 7 0 8 名)
代 表 者 代表執行役社長 岡田 元也

【本件に関するお問い合わせ先】

(株)C F S コーポレーション 経営統括本部 山本まで T E L (045) 476-7466
イオン(株) コーポレート・コミュニケーション部 大塚まで T E L (043) 212-6061

以上